「ウェルネス・コミュニケーションズ」の挑戦！

国民のメタボリック対策を陰で支える企業

企業の健康管理は、
経年で継続実施することが重要。
従業員の健康は、会社の活性化、
収益性向上につながるのです。

ウェルネス・コミュニケーションズ
代表取締役社長　片山順夫氏

健康診断予約手配・精算代行サービスを行うヘルスケアサービス企業「ウェルネス・コミュニケーションズ」の新たな試みとは？

失って初めてその大事さに気が付く最たるものが健康！　ところが、現代人のヘルスケア事情はおおむね、会社で年1回行う人間ドックや定期健診で体内機能をチェックする程度。何ともお寒い限りだ。そんな自身の健康への無関心を決め込む平成ニッポン人の意識改革を図るべく、様々なヘルスケアサービスを提供している企業が「ウェルネス・コミュニケーションズ」だ。コチラの会社の主要事業は、企業や健保組合等を対象に健診予約手配・精算代行や健康管理支援業務などを行う「ネットワーク健診」と、インターネットを使った健康管理支援サービス「ヘルスサポートシステム」の2つ。「理想の健診体制！」をメタボリックが話題になるずっと前から提供していたのだ。では、事業内容の詳細を見てみよう！

「現在、インターネットを介して得られる健康情報は、病気になったらこう対処せよ的な一過性のものが大半で、健康な生活を営み続けるために必要な、自己管理を促す情報が少ないと思います。私どもが提供するサービスインフラを利用すれば、インターネット上で自らの健診結果を確認できるほか、医療機関情報から毎日を健康で過ごすための基礎知識まで、豊富な情報が入手できます」（ウェルネス・コミュニケーションズ代表取締役社長の片山順夫氏）

健診受診者に役立つ様々な健康アドバイスを発信

同社の主要事業は企業や健保組合等に向けてのネットワーク健診サービスを利用すれば、各地方の医療機関で健診を受診することができ、その後のサポートも充実。健診結果について不明な点や心配事などがあれば、健康支援担当者にメールで問い合わせできる。

「健康相談」機能、問診に答えるとメタボリックや食生活についてアドバイスが表示される「オンライン診断」機能など、日常生活の健康づくりを支援するバックアップ体制が充実していて、健診結果データは一元集約化される。

「私どもの健診・健康情報サイト『プラスウェルネス（+wellness）』では検査の目的や方法、結果の見方、脱メタボリックのための生活習慣改善ガイドなど、健診を受けることの大切さから健診後のライフスタイルまで、様々な情報やサービスを提供しています」（片山氏）

コチラのサイト（http://www.pluswellness.com/）も要チェックなのだ！

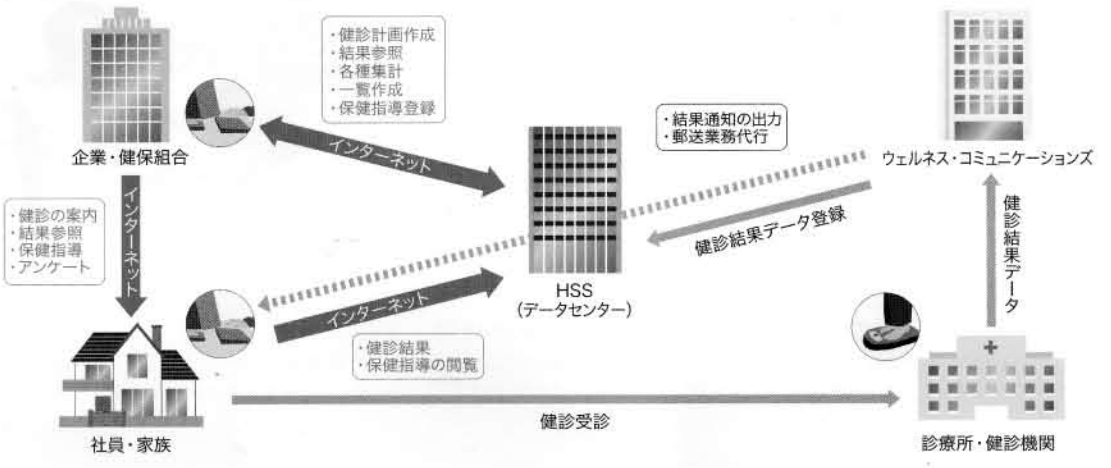
●ウェルネス・コミュニケーションズへの問い合わせ＝東京本社　☎03・5638・6172

案内からデータの一元集約まで、企業・健保組合の健康管理業務をトータルサポート

「受診対象者が日本全国に散在する場合でも健診の案内から結果通知、健診結果データの一元集約までをサポートします。データを一元管理することで、人事異動時の健診データの移行が簡単になります。健診担当者のわずらわしい健康管理業務を当社にて代行させていただいているのです」（片山氏）

例えば従来、全国の支社支店の健診手配を行う場合、各地方にどのような医療機関があり、どのような検査が実施できるのかを把握することは、本社の健診担当者の頭痛の種だった。全国に約2000カ所の健診センターや病院、クリニックと提携する同社

ヘルスサポートシステムのしくみ



ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社
Wellness Communications Corporation
■沿革
2006年7月 伊藤忠商事株式会社100%出資により設立
2006年8月 財団法人日本予防医学協会よりネットワーク健診事業を譲受
2007年3月 ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）取得
■事業内容
1.健康診断・人間ドックの予約手配及び精算代行事業
2.インターネット健康管理支援システムASP事業
3.ウェルネス関連情報・配信及びサービス紹介
■ホームページ　http://wellcoms.jp/
■プラスウェルネス　http://www.pluswellness.com/

2008年5月14日（水）　日刊ゲンダイ　掲載